

CSR

Corporate Social Responsibility

CSR 推進活動

企業理念の実現を目指す CSR 活動により、企業の社会的責任を果たすとともに、社会の信頼を獲得し、社会の持続可能な発展に貢献してまいります。

CSRの取り組み方針

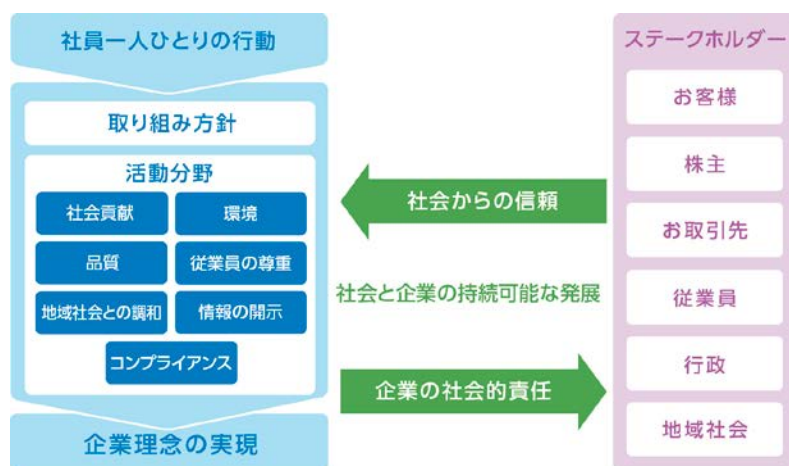
いすゞ自動車が、社会とともに持続可能な発展をしていくためには、私たちを取り巻くステークホルダーの皆様との信頼関係を築きながら、企業の社会的責任を果たし、企業理念の実現を図ることが重要です。

社員一人ひとりがこれを理解し、その行動により、企業理念の

実現を目指していく活動をいすゞ自動車の CSR 活動と位置付け、取り組みを行っています。

これからも、CSR 活動により、企業の社会的責任を果たすとともに、社会からの信頼を獲得し、社会の持続可能な発展に貢献してまいります。

いすゞ自動車の CSR 推進活動



「取り組み方針」の7つの柱

1

お客様からの信頼

社会的に有用な商品・サービスを提供することで、豊かな暮らし創りに貢献し、お客様の信頼を獲得します。

2

公正かつ健全な行動

公正かつ自由な競争に基づいた取引を行います。
また、行政・政治と健全かつ正常な関係を保つとともに、市民社会の一員として、反社会的勢力および団体とは断固として対決します。

3

企業情報の開示

株主様はもとより、広く社会的にコミュニケーションを行い、企業情報を適時・適切かつ公正に開示します。

4

従業員の尊重

従業員が能力を最大限発揮できるように、人格・個性を尊重し、安全で働きやすい環境を実現します。

5

環境保全への貢献

事業活動を通して、環境保全に取り組むことはもちろん、地球に暮らす市民として、社会や地域の環境保全活動にも積極的に取り組みます。

6

社会への貢献

良き企業市民として積極的に社会貢献活動を行います。

7

国際・地域社会との調和

国や地域の文化、慣習を尊重し、事業活動を通してその発展に貢献します。

DeUSEL

MIDORIMUSHI BIO FUEL

『運ぶ』を支えるいすゞ 地球環境への貢献



社会貢献

**いすゞ、ユーグレナ社は共同で
次世代バイオディーゼルの実用化を目指す
「DeUSEL®プロジェクト」をスタート**

いすゞ自動車とユーグレナ社は、微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）由来の次世代バイオディーゼル燃料の実用化に向けた共同研究契約を締結しました。活動の第一歩として、ユーグレナ社が開発した世界初の微細藻類ユーグレナから作られたバイオディーゼル「DeUSEL®(デューゼル)※」を使用したいすゞの藤沢工場シャトルバスの定期運行を、2014年7月1日より開始しました。

※ DeUSEL®(デューゼル)とは、DIESEL(ディーゼル)と euglena(ユーグレナ)を組み合わせた造語で、ユーグレナ（和名：ミドリムシ）からつくったバイオディーゼル燃料を表すいすゞとユーグレナ社の共同で取得した商標です。

近年、地球温暖化対策は重要な課題となっており、多くの企業が二酸化炭素排出量削減に取り組んでいます。特に燃料においてはバイオ燃料の開発に注目が集まっており、バイオ燃料の中でも微細藻類を活用した燃料開発は世界中で取り組みが進んでいます。

ユーグレナ社は世界で唯一の微細藻類ユーグレナの屋外大量培養技術を活用し、微細藻類由来バイオ燃料開発を推進しております。両社は、今後とも軽油のニーズが高いと思われる長距離輸送車向けのバイオディーゼル燃料開発の必要性に着目し、含有率100%でも車両のエンジンに負担をかけることなく使用することができる微細藻類ユーグレナ由来の次世代バイオディーゼル燃料の実用化を目指して、2社共同で研究に取り組む『DeUSEL®プロジェクト』を開始しました。本プロジェクトを通じて、ユーグレナ社が次世代バイオディーゼル燃料の研究開発と生産を進め、いすゞがその燃料の評価を行うことで、2018年までの技術確立を目指してまいります。

